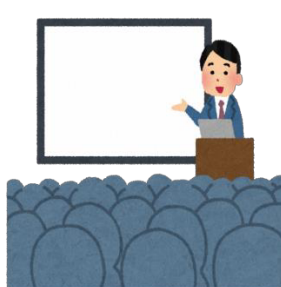


令和元年度 境港市市民活動 推進補助金事業 実績報告集



境港市総務部地域振興課企画係

～ 目 次 ～

◎令和元年度採択団体一覧	P 1
--------------	-----

◎令和元年度事業実績

(1) 一般事業	P 2
----------	-----

(2) 緑化事業	P 6
----------	-----

令和元年度市民活動推進補助金採択団体一覧

	事業名	団体名	総事業費	補助 対象額	交付 決定額	交付 確定額	区分	回数
1	郷土愛育成事業 ～中海環境学習～	一般社団法人境港青年会議所	281,798	281,798	143,000	140,000	一般	10回目
2	第6回平和のための戦争展	平和のための戦争展境港市実行委員会	180,522	175,571	75,000	75,000	一般	5回目
3	市内の水辺における安全活動	境港サーフレスキューチーム	328,668	328,398	300,000	218,000	一般	1回目
4	漁村市交流人口拡大計画	さかいみなと中野港漁村市実行委員会	276,966	120,466	114,000	60,000	一般	3回目
5	花いっぱいふれあい事業	鳥取県立境港総合技術高等学校ボランティア同好会	80,000	80,000	60,000	60,000	緑化	13回目
6	京和会花いっぱい運動	京和自治会	67,652	67,652	54,000	54,000	緑化	10回目
7	竹内西緑地へのマツ苗の植栽及び管理	竹内マツ植樹隊	755,323	505,323	60,000	60,000	緑化	7回目
8	つつじ100本通り公園の整備事業	あゆみ会境港	79,200	79,200	60,000	60,000	緑化	5回目
9	しらおの森は花いっぱい	境港市立外江小学校PTA	90,000	90,000	60,000	60,000	緑化	15回目
10	花いっぱいの境小	境港市立境小学校PTA	90,279	90,279	60,000	60,000	緑化	10回目
11	花いっぱい ふれあい運動	上道小学校PTA	89,753	89,753	60,000	60,000	緑化	15回目
12	はないっぱい運動	境港市立余子小学校保護者と先生の会	98,742	98,742	60,000	60,000	緑化	4回目
13	花いっぱい！中浜小学校	中浜小学校保護者と先生の会	32,933	32,933	32,000	26,000	緑化	3回目

※総事業費・補助対象額は実績を記載。その実績により交付確定額を算出。

交付決定額は申請時の補助対象額から算出。

※「第5回境港カニカニマラソン大会」については、事業中止により交付決定を取り消し。

区分	件数	補助金額
新規	0件	0
一般	4件	493,000
緑化	9件	500,000
合計	13件	993,000

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	郷土愛育成事業 ～中海環境学習～				
事業主体	一般社団法人境港青年会議所				
補助区分	一般事業		団体補助回数(通算)	10回	
補助金額	140,000円	総事業費	281,798円	補助対象額	281,798円
事業内容	【事業内容】 子供たちに中海の現状を知ってもらい、海を大切にする心や郷土愛を醸成することを目的に、校内授業・課外授業を実施し、その様子を動画で公開した。 【開催(実施日)】 ①令和元年5月9日、②5月21日、③6月11日、④6月18日、⑤7月2日 【実施場所】 ①境港総合高校、②中海(美保関支所付近)、③境港総合高校、④中海(上宇部尾地区海岸)、⑤境港総合高校 【参加人数】 延べ人数290名				
	 				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ
事業目的を達成できたか	・アンケートの結果から高校生の約97%と、小学生の約98%が「中海の現状・歴史を理解できた」と回答しています。 ・高校生については、理解度を確認するために行った小学生へ学んだことを伝えるという点についても、約85%の生徒が「うまくできた、まあまあできた」と回答しています。また、「今後中海についてどのような活動をしていくべきか」という設問に対して、多くの生徒が「元に戻すのが難しいが、自分たちにできることをしたい」と回答しており、「授業の中でのゴミ拾いやボランティア活動への参加」などを提案していました。 ・小学生については、高校生への手紙を見ても、多くの生徒が教えてもらったことをしっかり書けています。また、アンケートの「中海に対する感想は」という設問に対して、多くの生徒が「元のきれいな海に戻したい。魚や貝がたくさんいる海にしたい」と回答しています。 ・よって、高校生・小学生ともに、「地域の未来を担う子供たちに中海の現状を知ってもらい」「郷土への愛着を深めてもらうと共に海を大切にする心を養ってもらう」とい目的は達成できたと思います。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	本事業では、多くの外部協力者に支援いただきながら実施しました。参加者だけでなく、本事業に関わった方から「来年以降も実施してほしい」と継続することを期待する意見をもらっています。また、当初想定していた以外の方からも色々な支援いただきました。
事業運営の自立に向けた方針	来年度以降も継続して中海の事業を実施するために、境港総合技術高校が県教育委員会に予算要求しました。また、中海漁業協同組合も来年度協力して事業を実施する方向で話を進めています。
今後の課題	中海の歴史や現状に対する一般市民の認識を向上させていく必要があります。
補助制度についての意見	特になし

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	第6回平和のための戦争展				
事業主体	平和のための戦争展境港市実行委員会				
補助区分	一般事業		団体補助回数(通算)	5回	
補助金額	75,000円	総事業費	180,522円	補助対象額	175,571円
事業内容	【事業内容】 中国大陆での戦争拡大の中で、私たちの郷土ではどのような関わりがあったのかを 新県史編纂委員の講演を聞いて考えてみる。 【開催(実施日)】 令和元年11月23日～24日 【実施場所】 境港市しおさい会館 【参加人数】 会員147名、一般の参加者169人  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。 (変更内容) チラシ作成で材質を低く見積もったことと、学校への配布枚数を増やしたことなどで経費が増えた。
事業目的を達成できたか	戦争の悲惨さと、平和の大切さを考えてもらうことが出来た。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	今回から小学校に平和学習の研究作品を展示協力してもらうことが出来て、市民からの良い評価を頂いた。感想などでも継続を期待する意見を毎年頂いている。平和を願う主旨を理解してもらい支援も広がっていると評価している。
事業運営の自立に向けた方針	補助金以外の財源は各団体の分担金による運営を行っているので行事を行うことは財政的に大変です。
今後の課題	市民のみなさんに今後とも継続して平和の大切さを考えてもらえるよう、そして参加の輪が少しでも大きく広がるよう努力していきたい。
補助制度についての意見	いろいろな市民活動が行われているなか財政的にも弱小な団体もあります。少しでも補助などをしていただける制度というものは大変ありがたいと貴重なものと考えています。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	市内の水辺における安全活動				
事業主体	境港サーフレスキューチーム				
補助区分	一般事業		団体補助回数(通算)	1回	
補助金額	218,000円	総事業費	328,668円	補助対象額	328,398円
事業内容	【事業内容】 監視・救助活動及び海岸の清掃活動や、「浮いて待て」教室の実施により、防災・自助意識の向上を促した。 【開催(実施日)】 令和元年6月～9月 ①監視活動(7回) ②浮いて待て教室(14回) 【実施場所】 ①境港市佐斐神町 美保湾展望ビーチ ②市内小学校・保育園ほか 【参加人数】 ①会員延べ22名、一般の参加者延べ2,240名 ②会員延べ48名(うち市民28名)、一般の参加者616名(うち市民311名)				
	 				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった (変更内容) ・携帯は個人分を利用 ・救助艇燃料は殆ど航走せずゼロ ・保険料は会員増加のため増加 ・防水リュックを1個減 ・活動旅費は計上せず
事業目的を達成できたか	・真夏の週末7日間、ビーチにおける監視活動を実施し、遊泳者の安全を確保することができた。 ・市内1保育園、2小学校にて計6時間、311名の市民に対し、浮いて待て教室を実施し、地域住民(特に子供たち)の水辺における安全意識を高めることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	・鳥取県セーリング連盟より、救助艇を無償で貸して頂いた。 ・地元の4団体、6個人様より活動に対するご理解を頂き、協賛金による支援を頂いた。
事業運営の自立に向けた方針	・今後も補助金や協賛金による支援を受け有効活用出来るよう活動していきたい。
今後の課題	・ビーチにおける監視活動は週末でかつ長時間にわたるため、人員の確保が厳しい状態であった。今後、会員増加のための工夫が必要である。
補助制度についての意見	・初期投資が大きい事業であるため、非常にありがたい制度である。今後もぜひ活用させて頂きたい。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	漁村市交流人口拡大計画				
事業主体	さかいみなと中野港漁村市実行委員会				
補助区分	一般事業		団体補助回数(通算)	3回	
補助金額	60,000円	総事業費	276,966円	補助対象額	120,466円
事業内容	【事業内容】 沿岸の魚の魅力を周知し、境港の水産を盛り上げるとともに、高校生と協力し、将来の担い手育成を図った。 【開催(実施日)】 令和元年5月18日、6月8日、7月13日、9月14日 【実施場所】 中野港 【参加人数】 会員16名、一般の参加者5月2,000名、6月1,600名、7月1,200名、9月2,000名  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。 収入: サーモンの販売がちょっと増えた、有償出店者が減った 支出: 消耗品が少し増えた
事業目的を達成できたか	9月には鮮魚、干物、野菜の3本柱が完成した。 新規出店の紺工房浜木綿、岡田商店があったので7年目にして概ねカードはそろった感じ
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	ただの販売イベントではなく、学べる場としての機能もあり、魚を中心とした地域の全ての方が関わるイベントとして定着してきた。 例えばあがりみち、なかはま保育園、境港総合技術高校など。 それに伴ったタッチングプールで親子の来場者も増えた。
事業運営の自立に向けた方針	本来漁業者主導で行わないといけないが、漁業者や一般人は行政との付き合い方、自立などのノウハウをあと3年で伝授していきたい。
今後の課題	運営費がかつかつなので、そこが課題。 利益も出してはいけないうのでそこが難しいところ。
補助制度についての意見	公共性が認められる事業は10/10を初年度だけでなく継続して支援してほしいです。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱいふれあい事業				
事業主体	鳥取県立境港総合技術高等学校ボランティア同好会				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	13回	
補助金額	60,000円	総事業費	80,000円	補助対象額	80,000円
事業内容	【事業内容】 年間を通じて、学校周辺余子駅周辺の緑化、清掃活動を実施し、地域との交流を図った。 【開催(実施日)】 令和元年年5月～令和2年3月 【実施場所】 校内、JR余子駅、市内高齢者施設、余子小学校 【参加人数】 福祉科1年～3年 述べ約104人				
	 				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	福祉科1年生から3年生の全学年が活動に参加し、目的は概ね達成できた。今年度は、平成18年度からの活動継続が認められ、第30回全国「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けた。校外での活動機会はあまり多くなかったが、校内での活動を着実に行うことが出来た。また、来年度に向け「はるかのひまわり絆プロジェクト」を引き継ぎ、いのちについて考えながら、花を育て、広げる活動について考えるきっかけ作りの年となった。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	施設での花植え交流では利用者の方が大変喜ばれ、HPにも掲載され、その後も大切に育てていただいている。また、来客等からも「この学校の玄関や庭にはいつも花がきれいですね」と地道な活動を認めて下さる方も有り、事業への理解、支援が広がっている。HP、マスコミ等を活用しての情報発信を積極的に行い、生徒自身が地域に目を向け、貢献しているという意識を高めさせていきたい。
事業運営の自立に向けた方針	資金面においてはボランティア同好会活動費等で可能な限り活動を継続したい。活動当初の生徒の願いや花植えを通して「福祉のまちづくり」の視点を風化させないための柔軟な活動のあり方を生徒自身に考えさせていきたい。
今後の課題	科の類型変更(ボランティア類型からこども福祉類型へ)による学習内容の変更、また、自然体験・生活体験の少なさが目立つ生徒が多く入学するようになり活動の重要性が高まる一方で、取り組みへの指導は年々難しくなっている。福祉科内での活動に留まらず、PTAや生徒会等と連携しながら、全校生徒が地域とかかわる活動、機会となるような活動内容や方法を考えたい。また、活動への地域のPR方法についても考える。
補助制度についての意見	来年度も継続していただきたい。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	京和会花いっぱい運動				
事業主体	京和自治会				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	10回	
補助金額	54,000円	総事業費	67,652円	補助対象額	67,652円
事業内容	【事業内容】 京和会会員宅の道路添に季節の花を植えたプランターを飾り付け、町を花で彩った。 【開催(実施日)】 令和元年6月～11月 【実施場所】 京町周辺 【参加人数】 会員15世帯				
	 				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	町内の美化を図り、「花いっぱい運動」の植え付け作業、日常の維持管理を通じて会員の交流を図ることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	町内を自主的に明るくしようとする運動には、他の自治会からも賛同を得ているが、運動に取り組む自治会は、ほとんどない。
事業運営の自立に向けた方針	当自治会の財政から見て、補助金なしの運動は考えられないので、補助金制度がなくなれば撤退の方向です。但し、プランターなどがあるので最小限の飾り付けはしたい。
今後の課題	花の苗も値上がりしており、数年咲く花木の検討をしたい。
補助制度についての意見	花いっぱい運動については、活動推進のため申請手続きを簡素化する必要がある。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	竹内西緑地へのマツ苗の植栽及び管理				
事業主体	竹内マツ植樹隊				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	7回	
補助金額	60,000円	総事業費	755,323円	補助対象額	505,323円
事業内容	【事業内容】 竹内団地内の竹内西緑地の松林はマツクイムシ被害や塩害等で荒廃しつつある。そんな境港市の木でもある「クロマツ」を5年計画で植栽・保全し、地域緑化の推進と自然環境や景観保全に寄与する。 【開催(実施日)】 令和元年5月～令和2年3月 【実施場所】 竹内西緑地の一部 【参加人数】 会員30名、一般の参加者60名  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。
事業目的を達成できたか	マツ苗木1,000本、サクラ苗木12本と予定通り植樹はできた。開墾予定面積は10,000㎡であったが、今回大型の重機を入れたので、開墾面積を広げ、14,000㎡整備をした。31年度の目標は達成できた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	平成25年11月に初めて植樹をして以来、今回の令和元年11月の植樹で7回、地域の方々と環境美化に取り組みました。整備した面積も93%くらいで、完成も間近となり、市民のこの整備事業に対する認知度も上がってきたと感じる。
事業運営の自立に向けた方針	目標整備面積57,000㎡に対して現在53,000㎡と整備も進み、来年の整備完了が見えてきた。現状の整備費は、公の助成金で大半賄っている。今年度も、民間から大口の寄附があった。整備完了まであと1年の予定だが、自立はまだ難しい。大型の重機投入も今年度が最後で、再来年から整備費も減り、運営が少し楽になる程度である。
今後の課題	現在、開墾整備・植樹をしている雑木林は、広さが500m×110mと結構広い。単に松林として管理するだけではなく、市民が森林公園のような使い方(散歩や休憩等くつろげる場所)が出来るような整備と一部松露畑の整備にも取り組みたい。
補助制度についての意見	提出書類は必要最低限で、対象事業の補助率を100%にして多くのボランティア団体が利用しやすいようにしてほしい。重機や材料を購入する事業は、計画を見ながらの支援をお願いしたい。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	つつじ100本通り公園の整備事業				
事業主体	あゆみ会境港				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	5回	
補助金額	60,000円	総事業費	79,200円	補助対象額	79,200円
事業内容	【事業内容】 地区の公園を町民がくつろげる場所として整備することで、住民への環境美化に対する意識付けや、住民間のコミュニケーションを図った。 【開催(実施日)】 令和元年11月～12月 【実施場所】 境港市竹内町1399-2付近(つつじ100本通り公園) 【参加人数】 会員延べ12名、一般の参加者延べ8名  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ
事業目的を達成できたか	事業目的である枯れ木を含む成木2本を伐採し、空間を拡げ、つつじ5本の補植を行った。住民との連携もで出来、地区のコミュニティ広場としての活用が期待できる。(ほぼ達成できた。)
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	環境美化に対する一定程度の理解と協力はある。今回の整備事業に応援ボランティアは8人であった。
事業運営の自立に向けた方針	今回の事業は、個人が出来るボランティアの範囲を超えていたので、専門業者と清掃ボランティアの役割を分けて行った。事業理念を理解した会員を増やし、活動することが重要。
今後の課題	事業目的の社会的意義を理解してもらう活動が必要。
補助制度についての意見	本補助金制度は、ボランティア団体にとって、非常にありがたい制度であるが、事業に対する補助率が100%でない為、資金に乏しい団体が利用できない。補助金の額を下げては仕方がないが、補助率を100%にした方がすべての団体が利用しやすい。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	しらおの森は花いっぱい				
事業主体	境港市立外江小学校PTA				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	15回	
補助金額	60,000円	総事業費	90,000円	補助対象額	90,000円
事業内容	【事業内容】 「しらおの森」を中心に学校全体をより良い憩いの場とするため、地域ボランティアとともに四季折々の草花を育てた。育てた花は地域にプレゼントし、美化活動に対する意識を高めた。 【開催(実施日)】 令和元年5月～令和2年3月 【実施場所】 「しらおの森」及び校内 【参加人数】 児童、ボランティア約249名  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	できた。
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ。
事業目的を達成できたか	・児童に植物を育てることの楽しさや喜びを味わわせるとともに、いのちの大切さを感じさせ、優しい心を育むことができた。 ・花づくりを媒介にして地域の美化活動への関心を高めることができた。 ・学校と地域をつなぐ「しらおの森」や学校を花いっぱいにする活動を通して、自分たちの町に愛着を持ち、郷土愛を高めることができた。 ・保護者・地域の方よりボランティアを募集し、ともに活動を進めていくことで、本校の教育への理解と協力を得ることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	花ボランティアや児童の活動は、学校ホームページや学校便りなどで随時アピールしている。また、校区内の各事業所へ花を届けることで、本事業をアピールした。
事業運営の自立に向けた方針	本校児童が年間を通して交流学习等でお世話になる施設に、季節ごとに花を配ることを通して、花いっぱい運動が、学校と地域をつなぐより主体的な活動になるように取り組んだ。
今後の課題	今年度の花ボランティアは4名の応募があり増えた。本事業を活用して地域の方や保護者との交流形式の協働活動を年間を通して仕組み、より多くの保護者や地域の方へ本事業を拡大していきたいと考えている。
補助制度についての意見	本事業推進には大変資金がかかり、PTAの補助金だけでは不十分である。是非この事業への補助を継続してほしい。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱいの境小				
事業主体	境港市立境小学校PTA				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	10回	
補助金額	60,000円	総事業費	90,279円	補助対象額	90,279円
事業内容	【事業内容】 四季折々の草花を育て、校内を彩り、学校を憩いの場とする。入学式や卒業式の会場に育てた花を飾り、新入生への歓迎の気持ちと卒業生への感謝の気持ちを表す。 【開催(実施日)】 令和元年5月～令和2年3月 【実施場所】 校内 【参加人数】 PTA会員、栽培委員会児童、1, 5年生、約320名  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少変更があった。 概ね予算どおり執行できたが、土や肥料、園芸小物等の購入で若干の変更があった。
事業目的を達成できたか	年間を通して、1年生と5年生、栽培委員会の児童を中心に栽培活動を行ったが、登下校時や休憩時間に植物の成長の様子を熱心に観察したり、花を眺めたりする児童の様子が見受けられ、植物をはじめとする生命を慈しむ心を育てることができた。また、入学式や卒業式の会場に育てた花を飾ることにより、新入生への歓迎の気持ちと卒業生への感謝の気持ちを表すことができた。また、育てた花を公民館や校区の3つの幼稚園、老人福祉施設等に贈り、交流を深めるとともに地域の美化活動にもつなげることができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	育てた花を公民館や校区内の3つの幼稚園、老人福祉施設等、学校ボランティアの方に寄贈して普段お世話になっている感謝の気持ちを伝えることができた。花づくりのボランティアを募って、児童と栽培活動に取り組んだ。来年度も保護者や地域を含めさらに活発な活動ができるように再度計画を見直していきたい。
事業運営の自立に向けた方針	草花の種子を校内で採取して栽培を行ったり、肥料等を使って土づくりを行ったりしているが、植物の生育が天候に左右される面があり、ある程度は苗からの栽培を入れながら、花づくりに取り組む必要があると考える。
今後の課題	校内で栽培した草花を使って、地域の美化活動に貢献できるような取り組みを考えていきたい。具体的には、生活科や総合的な学習の時間で関わっている水木しげるロードやお魚ロードに花を飾るような計画も検討していきたい。また、保護者や地域のボランティアの方々を募り、学校と協同して花づくりに取り組み、地域の美化活動に貢献していきたい。
補助制度についての意見	自校での予算が限られた中で本補助制度は、大変有効であり、今後ともより良い活用を目指して取り組んでいきたい。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱいふれ合い事業				
事業主体	上道小学校PTA				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	15回	
補助金額	60,000円	総事業費	89,753円	補助対象額	89,753円
事業内容	【事業内容】 植物を育てることの楽しさや喜びを味わい、花づくりを通して地域の美化活動への関心を高めるとともに、自分たちの町に愛着を持つやさしい心を育むことを実践した。 【開催(実施日)】 令和元年5月～令和2年3月 【実施場所】 校内・学校周辺 【参加人数】 小学校児童、職員、保護者、地域の方など約300名				
	 				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた。
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。 (変更内容) 中庭や校舎回りの環境整備のために鎌や草刈りなどの道具を購入した。
事業目的を達成できたか	本事業の主となる活動は、地域のお年寄りや保護者を巻き込んでの花の苗の植え替え作業(11月)である。その花を飾る舞台は卒業式と入学式に設定している。また入学式後に、保護者への啓発を兼ねて花の鉢の持ち帰りを行うところまでが事業である。よって、最終的なゴールまでは、まだたどり着いていないが、花の生育も良好なので、このまま事業の目的を果たせるものと期待している。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	本事業の予算を使って、継続的に玄関前や道路脇、中庭の植物の維持管理を行っている。審査会での意見でも、いつも玄関の花壇が美しいとの評価をいただき喜んでいる。11月のPTA主催による植え替え作業にも、参加して下さる保護者の方が増えている。市の助成金を受けていることを、花の持ち帰りを依頼する文章の中で伝えることができた。
事業運営の自立に向けた方針	学校という公の施設での緑化活動であるので、今後も継続的に助成をお願いしたいが、難しい場合でもPTA予算でやりくりし、同程度の緑化事業は維持していきたいと考えている。
今後の課題	花の育成を主事さんをお願いしている。しかし、主事さんが花の世話にかけられる時間は限られているので、児童の活動(委員会活動など)として取り組んだり、コミュニティスクール化も見越して、地域や保護者の方に花の世話をさせていただくことも今後考えていきたい。
補助制度についての意見	補助制度を活用していることを広く知らせていきたいと考えているので、学校では保護者に文章で活動を随時知らせるお便りの発行も考えているが、地域の方に知らせるものが何かあればと思う。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	はないっぱい運動				
事業主体	境港市立余子小学校保護者と先生の会				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	4回	
補助金額	60,000円	総事業費	98,742円	補助対象額	98,742円
事業内容	【事業内容】 卒業式や入学式に向けて花を育て、多様な人とのかかわり合いを深める。栽培活動を通じて、植物をはじめとする小さな命を慈しむ優しい心を育てる。美化活動への関心を高め、地域美化への意識と意欲を持たせる。 【開催(実施日)】 令和元年6月～令和2年3月 【実施場所】 学校中庭・前庭 【参加人数】 児童・教職員・保護者ボランティア164人  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた
予算書と決算書の活動費の内訳	ほとんど同じ
事業目的を達成できたか	総合技術高校生と活動することで、目的はおおむね達成できた。また、道に沿って、季節の花を植えることで地域における花いっぱい活動を進めていくことができた。卒業式や入学式に向けての花づくりを通して、小さな命を慈しみ、成長を喜ぶ体験ができた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	児童との活動を通して、高校生に活動に対する興味を持ってもらうことができた。また、育てた花(サクラソウ)で玄関を飾ったり、道路沿いに花壇を作り、季節の花を植えたりすることで、地域の学校として良い景観づくりとなった。
事業運営の自立に向けた方針	PTA役員の方を中心に、事業内容の理解を深め、主体的な活動の一つとして継続的な取り組みにしていきたい。
今後の課題	地域の美化活動の一端を担う活動という意味で、学校に親しみをもって支援して下さる地域の方や高校生との交流を増やしていきたいと考えている。児童の活動時間の確保と、地域への呼びかけ方についての工夫が必要だと考える。
補助制度についての意見	児童数の減少により、年々、予算削減の声が出る環境美化活動である。こうした市の補助制度があれば、活動内容の縮小をすることなく学校環境を整えることができ、地域美化活動を意識させることで地域の一員であるという意識を育てることができる。

令和元年度 市民活動推進補助金実績報告

事業名	花いっぱい！中浜小学校				
事業主体	中浜小学校保護者と先生の会				
補助区分	緑化事業		団体補助回数(通算)	3回	
補助金額	26,000円	総事業費	32,933円	補助対象額	32,933円
事業内容	【事業内容】 校内の緑化を通して児童の学ぶ環境を向上し、自然に触れたり、植物を育てることの楽しさや喜びを体験する機会を増やす。親子や友人同士で共に作業し、感動を共有する大切さを学ぶ。 【開催(実施日)】 令和元年11月 【実施場所】 校庭 【参加人数】 PTA役員、保護者及び児童、教職員等約100名  				

自己評価	
事業は申請どおり実施できたか	概ねできた
予算書と決算書の活動費の内訳	多少の変更があった。 昨年は8月と12月、2回開催したが、今年度は11月に1回開催し、花苗の数を減らしたため。
事業目的を達成できたか	今年度はまつぼっくり事業所との日程が合わず、参加がかなわなかったが、校内での目的は概ね達成できた。
事業に対する社会的理解・支援が広がったか	昨年までは清掃活動や行事の合間に開催するものだったが、今年度から単独の活動にし、それにもかかわらず多くの人が参加して下さったので、理解は深まったと感じる。
事業運営の自立に向けた方針	花壇の土作りや、日々の花の管理も併せて、多くの人に参加してもらえるように話し合い、工夫を重ねていきたい。
今後の課題	単独開催でどのように参加しやすいイベントにするか、もしくは学校行事との組み合わせで足を向けやすい環境を作るか、花苗の種類や植樹などについても考えていくことが課題。
補助制度についての意見	PTA予算だけではできないこともあるので、補助制度は大変有意義だと思います。